

令和七年度

中国地区代表選出

全国吟詠コンクール中国地区大会

日 時 令和七年七月六日（日）

午前十時開会（開場九時）

場 所 山口県光市島田四丁目十三一十五

光市民ホール

電話（〇八三三）七二一一四四一

主催 公益財団法人 日本吟劍詩舞振興会
中国地区連絡協議会

全国吟詠コンクール決勝大会
④とき R7.9.15(月・祝) ④ところ 東京・日本教育会館一ツ橋ホール

大会次第

一、国歌斉唱
一、開会の辞
一、トロフィー返還と
レブリカ贈呈
審査規定発表
審査委員紹介
吟詠コンクール

一、審査講評
一、大会会長挨拶
一、来賓挨拶
一、審査会議
一、成績発表
一、閉会の辞
審査規定発表
審査委員紹介
吟詠コンクール

(注意)
一、役員集合午前九時

黙黙漁人自作吟詩競技大会会詩

井川良一作

朝にうき夕に舞うて心身と練り
れ節持し末つて互に眞と養ひ
世界は一衣皆我友
頼むは斯道と興して人倫と正せ
井川良一書

大會役員

大會特別顧問

大會顧問

楠 春 下 熊 藤 宮 田 森 大 藤 平 高 大 山 廣 重
部 菜 原 本 河 野 邑 山 橋 岡 木 本 木 本 木 本 重
賀 齋 翔 龍 慧 久 鶴 嘉 清 宗 鶴 光 法 翠 賀 光
山 桂 劍 山 清 誠 風 明 風 伯 峰 洲 山 陽 風

大會事務次長 大會副事務長 大會委員長 大會副委員長 大會會長
大會事務長 大會副事務長 大會委員長 大會副委員長 大會會長
菅 東 山 高 胡 菅 中 木 橋 河 藤 中 佐 浮 津
源 城 山 中 源 島 戸 本 田 上 林 藤 佐 浮 津
左 豊 明 鶴 翠 右 瞭 一 清 蘭 翔 清 翔 虞
麗 山 洲 山 阳 光 風 声 邦 泉 山 城 風 山

審查委員

審查委員長
審查副委員長
審查委員

音 詩 發
響 文 音
監 文 音
查 監 審
查 查 查

田 河 西 竹 関 米 山 橋 森 河 中 高 楠 田 佐 浮
村 村 向 內 口 本 城 本 岡 田 林 木 部 邑 藤 津
寺 俊 昇 靜 龍 麗 耿 明 清 盟 蘭 清 法 齋 嘉 翔 虞
風 山 邦 馨 煌 泉 洲 邦 山 泉 城 洲 山 風 風 山

大会相談役

大会運営役員

会賞集		会場舞台		昼接記		音計		進行		会付		受務	
計	票	計	◎高河	◎待	◎錄	時	◎響	◎行	◎会	◎藤本	◎秦	◎藤本	◎秦
◎菅源	◎高木	◎菅源	◎大原	◎藤村	◎河村	◎竹内	◎佐伯	◎井上	◎光貞	土風	○吉村	○森田	早洲
左麗	中谷	刈川日路嘉	三瓶	古屋	洞風	龍宸	統風	○河内	○藤井	○青風	○河内	○森田	金屋
	◎高木	静透	正雄	翔風	青風	○山口	○山口	○津野	○藤井	清風	○河内	○吉村	艶風
	○大田	○原田	○上田	鶴洵	○吉永	○西本	慈風	○津野	○津野	春風	○河内	○吉村	馨心
	敏風	孝水	長谷	岡本	光明	美風	鶴峯	○吉永	○吉永	福永	○山口	○吉村	水間
				○津野	裕治	○西本	○西本	○吉永	○吉永	○吉永	○吉村	○吉村	桃風
				田邑奈緒嘉	○紅風	○西本	○西本	○吉永	○吉永	○吉永	○吉村	○吉村	中村
				村本	藏中	○成瀬	○成瀬	○吉永	○吉永	○吉永	○吉村	○吉村	和子
				華水	惠水	○翔風	○翔風	○吉永	○吉永	○吉永	○吉村	○吉村	中村
				山根	菅源	○岡崎	○岡崎	○吉永	○吉永	○吉永	○吉村	○吉村	和子
「註」	○長			基江	右凜	○鶴緘	○鶴緘	○吉永	○吉永	○吉永	○吉村	○吉村	中村
○副						○重村	○重村	○吉永	○吉永	○吉永	○吉村	○吉村	和子

一註

令和七年度全国吟詠コンクール中国地区大会実施要項

(1)

この「コンクール」は、わが国の伝統芸術である吟道に親しむ一般並びに青少年に、日ごろの吟道精進の成果を競う場を与えると同時にすぐれた吟詠家を発掘し、これを表彰して吟詠の向上と普及、発展を図ることを目的とし、公益財団法人日本吟剣詩舞振興会制定の全国吟詠コンクール実施要項に基づいて実施する。

(2)

この「コンクール」は、左の六部門に分けて行うものとする。

区分	幼年の部	少年の部	青年の部	一般一部	一般二部	一般三部
資格	満12才未満	満12才以上	満18才以上	満35才以上	満35才以上	満35才以上
	18才未満			55才未満		
		35才未満			75才未満	
			55才未満			満75才以上
				75才未満		
					満75才以上	

(3)

この「コンクール」の出場者は、公益財団法人日本吟剣詩舞振興会中国地区連絡協議会運営下にある五県の予選大会で行われた「コンクール」に出場して選出されたものであり、「プ

ログラム」に記載された者以外の出吟は許されない。
尚、次の者はこの「コンクール」に当初から参加を認められない。

(イ)

第五十回全国少壮吟詠家審査コンクールに入賞した者、及び少壮吟士として表彰された者。

この「コンクール」は次の審査要項によつて実施する。

(4)

「コンクール」を行ふ順序は大会次第通りとする。

(イ)

出吟順は申込〆切後厳正公平な抽選で決定した「ログラム」順番通りとし、この変更は許されない。

(ハ)

吟題はすでに発表された本年度指定の吟題（幼年・少年の

部十題、青年・一般一部・二部・三部十題）のうちから選び、

あらかじめ届け出た一題を吟ずるものとする。

(二) 吟じ方は、まず司会者が出場者の番号・氏名を紹介し、出場者は指定伴奏CDの前奏を確認し吟じ始める。出吟前後の礼は省略する。

(ホ) 吟詠時間は吟じ始めてから二分以内に吟じ終るものとする。

(ヘ) 何らかの原因で伴奏曲が本人申告と違った場合には、前奏の間に申し出ること。

(5) 次の場合は失格とする。

(イ) あらかじめ届け出た「プログラム」に記載された吟題と異なる場合。

(ロ) 財団刊行の吟詠教本の読み方に基づいて統一された、本年度指定吟題の読みと異なる場合。

(ハ) 吟詠の途中で絶句・やり直し・誤読をした場合。

(ニ) 各部共に吟じ始めてから二分を超えた報らせのベルが鳴つた場合。

(ホ) 「プログラム」記載の出吟順番に遅れた場合。

(ヘ) 審査結果発表並びに入賞者表彰時に事前に届け出なく出場者本人が不在の場合。

(ト) その他、審査委員長が失格と認めた場合。

(6) 成績の判定は、日吟振内規による「吟詠コンクール審査規定」に基づく。

(8) (7) 入賞者発表は表彰式典の席上で行われる。
審査の採点は次の各項にウエイトをおいて行う。

吟声がすぐれているかどうか。

发声、技術がすぐれているかどうか。

伴奏曲と調和（音程をふくむ）しているかどうか。

アクセントが正しいかどうか。

詩心を的確にとらえているかどうか。

吟詠態度が良いか悪いか、服装は男女問わず和服を着用のこと、洋服着用の時は2点の減点とする。和服着用の時は着付け歩き方等がみだれている時は減点の対象とする。

(ト) マイクの上下を操作する時は、扇子を左腰に差し両手、片手を問わずスマーズに操作し、片手の場合でも減点しない。

(9) 「コンクール」進行中の拍手、声援、私語雑談及び大会本部許可の報道関係者並びに記録班以外の会場内での写真撮影、テープレコーダー録音は禁止する。

◎コンクール出場者氏名

〈幼年の部〉 3名

3	2	1	番号
林 洸 希	原 田 峻 輔	井 川 駿	氏 名
偶成	九月十日	富士山	吟 題
8	9	9	本数
4	7	4	C D
			成績

〈少年の部〉 6名

9	8	7	6	5	4
竹 本 幸 輝	元 久 龍 太 朗	有 田 美 優	大 山 桔 乃	繩 手 美 月	原 彩 佳 理
偶成	富士山	早 に 白 帝 城 を 発 す	江 南 の 春	江 南 の 春	早 に 白 帝 城 を 発 す
8	1	9	8	7	9
12	4	2	3	1	2

〈青年の部〉 7名

16	15	14	13	12	11	10
西 山 穗 菜 美	小 川 さ く ら	平 岡 大 輝	西 山 優 花	松 下 大 輸	猪 木 原 恋 花	平 岡 朋 子
元 二 の 宴 酒 に 使 す る を 送 る	汪 倫 に 贈 る	元 二 の 宴 酒 に 使 す る を 送 る	元 二 の 宴 酒 に 使 す る を 送 る	楠 公 を 詠 ず	三 樹 の 酒 亭 に 遊 ぶ	汪 倫 に 贈 る
8	10	3	8	4	8	8
8	続 10	8	8	10	7	8

〈一般三部〉 61名

23	22	21	20	19	18	17
眞田大治	鈴木マサエ	出口ナラ子	楠部有希子	兒玉多江子	野瀬富貴男	福田哲夫
己亥の歳	汪倫に贈る	汪倫に贈る	汪倫に贈る	汪倫に贈る	汪倫に贈る	汪倫に贈る
2	7	7	7	6	4	3
11	続 10	1	1	続 10	2	続 10

31	30	29	28	27	26	25	24
日高由美子	森脇富美子	浮津美津恵	白松順子	小畠智義	松本徳彦	菅野美代子	川野辺郁
除夜の作	楠公を詠ず	汪倫に贈る	汪倫に贈る	三樹の酒亭に遊ぶ	武野の晴月	汪倫に贈る	武野の晴月
9	7	7	6	3	2	7	6
7	10	3	続 10	続 3	4	1	4

39	38	37	36	35	34	33	32
原田和子	大嶋洋	東廣司	武田澪	西内光良	堀ヒロ子	北村恵三	西井俊文
汪倫に贈る	楠公を詠ず	凱旋	江雪	三樹の酒亭に遊ぶ	江雪	元の安西に使するを送る	元の安西に使するを送る
5	3	2	7	2	7	3	水1
1	続 8	続 15	5	7	続 3	5	続 3

47	46	45	44	43	42	41	40
貞 綱 勉	岡 富 子	石 飛 佑 次	河 岡 孝 司	中山 常 利	坂 本 き よ み	平 松 美 智 子	森 富 代
武野の晴月	己亥の歳	凱旋	元三の安西に使するを送る	武野の晴月	汪倫に贈る	汪倫に贈る	汪倫に贈る
3	7	1	2	4	7	6	5
4	12	続 17	8	続 12	3	4	3

55	54	53	52	51	50	49	48
兼 松 マ サ 子	藤 森 真 澄	勝 部 洋 子	赤 木 輝 美 子	前 田 美 和 子	長 谷 川 明 生	飯 田 妙 子	小 幡 宏 政
汪倫に贈る	凱旋	除夜の作	汪倫に贈る	元三の安西に使するを送る	汪倫に贈る	汪倫に贈る	凱旋
7	5	8	6	6	1	7	3
続 10	9	続 13	7	8	7	続 10	9

63	62	61	60	59	58	57	56
稗 田 泰 久	下 西 美 保 子	好 井 廣 海	今 川 孝 江	上 野 和 子	小 林 勝 年	北 野 愛 子	片 山 俊 次
除 夜 の 作	山 の 夜	汪倫に贈る	汪倫に贈る	汪倫に贈る	汪倫に贈る	山の夜	元三の安西に使するを送る
2	7	1	8	5	3	5	3
8	8	5	3	5	続 12	続 12	6

71	70	69	68	67	66	65	64
平岡幸子	高橋雄子	小野孝子	胡中重俊	中村恭子	浦部圭子	土屋憲一	森田智子
汪倫に贈る	楠公を詠ず	汪倫に贈る	汪倫に贈る	汪倫に贈る	除夜の作	凱旋	汪倫に贈る
7	7	6	2	8	6	2	8
8	続 15	続 3	4	2	7	続 17	続 10

78	＼一般二部／45名		77	76	75	74	73	72
黒川洋三	河村志壽枝	藤井博文	水落桂子	岡村咲子	金堀孝行	本行俊明		
凱旋	汪倫に贈る	江雪	汪倫に贈る	汪倫に贈る	凱旋	元三の安西に使うを送る		
2	5	3	5	6	2	1		
9	続 10	続 12	1	続 12	10	8		

86	85	84	83	82	81	80	79
西村祐子	木戸頌子	玄馬透	児玉春雄	秋本祐子	清田宏和	小橋裕子	作田和人
武野の晴月	元三の安西に使うを送る	武野の晴月	己亥の歳	除夜の作	己亥の歳	汪倫に贈る	楠公を詠ず
6	8	3	4	8	3	7	3
6	続 12	5	11	続 13	10	3	11

94	93	92	91	90	89	88	87
藤原幸	岩佐住栄	山影佳代	景容子	白瀧美智子	原田万里子	寺本真司	中野康子
除夜の作	汪倫に贈る	江雪	己亥の歳	江雪	元二の安西に使うを送る	武野の晴月	除夜の作
7	8	7	8	8	8	3	7
5	2	続 1	12	続 3	2	3	5

102	101	100	99	98	97	96	95
木村真美	河野文恵	安部豊枝	佐藤保則	杉村さよ子	瀧崎厚子	中屋百合子	岡本芳晴
凱旋	凱旋	汪倫に贈る	除夜の作	汪倫に贈る	汪倫に贈る	汪倫に贈る	元二の安西に使うを送る
8	7	6	2	7	5	8	2
続 15	続 16	3	7	続 12	8	続 10	5

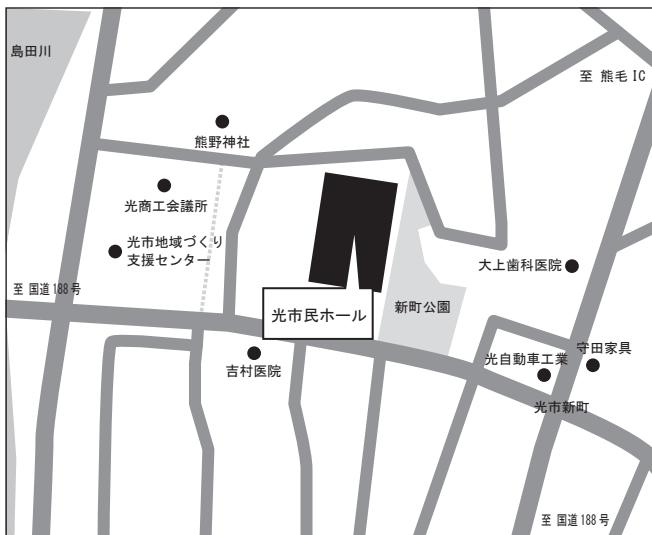
110	109	108	107	106	105	104	103
金藤朋子	福島史利	木村智志	尾方公一	武田美子	中谷範夫	松下美樹	中里文昭
武野の晴月	江雪	凱旋	元二の安西に使うを送る	除夜の作	江雪	除夜の作	楠公を詠ず
6	3	3	2	8	3	8	4
3	6	10	8	続 12	続 2	続 13	10

118	117	116	115	114	113	112	111
柘植晃子	小川聰子	白神真理子	山根令子	西山美由紀	草刈小夜子	曾田恵美子	小藤千枝
汪倫に贈る	汪倫に贈る	汪倫に贈る	武野の晴月	元三の安西に使うを送る	元三の安西に使うを送る	己亥の歳	三樹の酒亭に遊ぶ
8	8	6	7	8	7	6	8
2	続 10	続 3	6	8	続 14	続 17	3

125	124	123		122	121	120	119
杉原由佳	塚村慶子	武居志保		二井谷健	勝部美穂子	本庄栄子	野間澄子
除夜の作	除夜の作	汪倫に贈る		除夜の作	汪倫に贈る	三樹の酒亭に遊ぶ	三樹の酒亭に遊ぶ
8	8	7		4	7	8	8
7	6	続 10		5	2	3	8

133	132	131	130	129	128	127	126
北川由紀	田邑由香里	山田美和	砂川由衣	佐藤弘樹	福島亘	楠部倫子	平岡精二
汪倫に贈る	山の夜	江雪	汪倫に贈る	元三の安西に使うを送る	凱旋	汪倫に贈る	武野の晴月
9	8	7	8	4	3	8	3
3	続 12	8	8	5	続 17	続 12	4

^ 一般一部 ^ 15名



■電車をご利用の場合

JR 山陽本線 光駅までお越しください。

光駅からは、バスまたはタクシーをご利用ください。

■バスをご利用の場合

JRバス 室積公園口行きに乗車し

「島田市」バス停（約5分で到着）で下車後、徒歩約10分です。

■タクシーをご利用の場合

光駅から約10分です。

■バスをご利用の場合

「島田市」バス停から徒歩約10分

■お車でお越しの場合

高速道路をご利用の場合は、山陽自動車道 徳山東 I.C.

または 熊毛 I.C. から国道188号線を東進または

山口県道8号線徳山光線を南進してください。

徳山東 I.C. から約15分、熊毛 I.C. から約15分です。

車でのお越しの際には第2駐車場をご利用ください

(市民ホールの向かい側)